

# 2014 春日井市民第九演奏会



指揮  
井村 誠貴



ソプラノ  
日比野 景



アルト  
河村 典子



テノール  
中井 亮一



バリトン  
松下 伸也

とき **2014年11月23日(日)**

15時開演(14時30分開場)

ところ **春日井市民会館**

入場料 **1,500円【全指定席】**(消費税込)

※就学前のお子様のお断り申し上げます。  
※当日券は、販売できない場合もありますので、チケットは事前にご購入下さい。

指揮 ■ 井村 誠貴

ソプラノ ■ 日比野 景    アルト ■ 河村 典子

テノール ■ 中井 亮一    バリトン ■ 松下 伸也

管弦楽 ■ 春日井市交響楽団

合唱 ■ 春日井市民第九合唱団    合唱指導 ■ 松下 伸也

曲目 ■ ポロディン 歌劇『イーゴリ公』より「ダッタン人(ポロヴェッツ人)の踊り」  
楽譜協力:トヨタミュージックライブラリー

ベートーヴェン  
交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

チケット取扱い場所 [10/9(木)より発売]

- 文化フォーラム春日井 (2F文化情報プラザ)
- チケットぴあ (Pコード 240-829)
- 東部市民センター



※車椅子席は、文化フォーラムでのみお取り扱いいたします。

主催 / 春日井市・春日井市教育委員会  
(公財) かすがい市民文化財団  
春日井市民第九演奏会実行委員会

共催 / 春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団

後援 / 中部大学・中日新聞社



## 指揮 井村 誠貴 Masaki Imura

1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。オペラレパートリーも50演目を越え、主要作品の他にも、オペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜劇劇楽友協会におけるJ.シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年には年間オペラ公演回数日本人では第4位に入るなどオペラ指揮者としての地位を確立。また同年イタリアに留学。現地ではAs. Li. Co.の北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に行う一方、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団等を客演。また岐阜県交響楽団、大分市民管弦楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらに大阪市音楽団、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルに

も活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オ・フォール」(市村正親)を皮切りに、「マイ・フェアレディ」(大地真央)、「レ・ミゼラブル」(山口祐一郎)、「ベネチアと詐欺師」(鹿賀丈史)、「The Musical AIDA」(安欄けい)、「キャバレー」(藤原紀香)のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎美和、ダ・カーポ、佐々木秀実、夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。また、「浪速のモーツァルト:キダ・タロー」の作品の編曲も手掛け、キダ・タローとのコンサートも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけでなく、オペラ演出、企画構成、さらには編曲者としての活動も著しくマルチな才能を発揮。2011年には、岐阜3000人の第九を成功に導くなど、多方面で大きな役割を担っている。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン 振るマラソン!」と題して、全9曲の交響曲を一日で指揮。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くに及び実績と、繊細かつダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。指揮者、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMF指揮者。関西音楽人のちから「集」代表

## ソプラノ 日比野 景 Kei Hibino

名古屋音楽大学卒業、同大学院声楽専攻修了。二期会オペラスタジオ38期修了、修了時に優秀賞受賞。戸田敏子、大野恵子の諸氏に師事。東京二期会会員。「魔笛」童子2でオペラデビュー。「フィガロの結婚」ケルビーノ、「奥様女中」セルピーナ、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・アンナ、「愛の妙薬」アデーナ、「椿姫」ヴィオレッタ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、創作オペラ「八犬伝」伏姫、モノオペラ「与謝野晶子〜みだれ髪」与謝野晶子ほかを演じ、いづれも高い評価を得ている。また、オペレッタでは「こうもり」ロザリンデ(メリー・ウイダー)ハン

ナヴァランシェヌ、「小鳥売り」クリステル、「微笑みの国」ミー、「チャルダッシュの女王」シュタージ、「伯爵家令嬢マリツァ」リーザ、「白馬亭にて」ヨセファ、「ハリノ生活」キャブリエルほか、主要な役どころで数多く出演。また、コンサートソリストとして各地で演奏、活躍中である。CD「日本の歌」明治から平成まで(日本クラウンレコード)「日本語で歌うオペレッタ名曲集」(beltaレコード)好評発売中。

\* 日比野 景オフィシャルウェブサイト <http://www.maruke.net/>

## アルト 河村 典子 Noriko Kawamura

東京音楽大学演奏家コースおよび桐朋学園ソリストディプロマコースで学び東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。二期会オペラ研究所第53期修了。第12回長江杯国際音楽コンクール第4位、第3回近代音楽コンクール銅賞、第26回コンセル・ヴィヴァン新人オーディション優秀賞、第18回及川音楽事務所最優秀新人賞、第4回東京国際音楽コンクール入選。ドイツにて研鑽を重ねる。ドイツオペラを指揮者・城谷正博氏、発声法を穂積磨子、バイエルン・テアターアカデミー・コレパティウア Orestia Cbrwisky 女史に師事。オーストリアにてアカデミア・ヴォカリーズ主催クリスタル・ロードヴィヒ女史によるドイツ歌曲とオペラのマスタークラス及び文化庁委託事業ヴォルフラム・リーガ氏によるドイツ歌曲公開マスタークラス修了。2013年復活祭を記念するミサのソリストとしてドイツ・ヴァイン

ハイム、ハイデルベルクにてベルリン聖ヘドヴィツヒカテドラルオルガンニストのDr.ヴィルケス氏との共演でベルゴレージ「スターバト・マーテル」アルトソロを務め、ヴァインハイマー・リヒテン紙で「ゆるぎない信仰告白として、非常に説得力に満ちていた」と評価を得た。平成25年にワーグナー生誕200年をよせてヴェーゼンドンク歌曲集、イゾルデ愛の死をヴィオラとピアノ編成で東京・名古屋でリサイタルを開催。「カルメン」タイトルロール、「ラインの黄金」エルダ、「ワルキューレ」シュヴェルトライテ、「トリスタンとイゾルデ」ブランゲネ、「魔笛」侍女3、「リゴレット」マッドレーナ、「ドン・カルロ」エポリ等の役でオペラに出演。12月に名古屋二期会公演「飯守泰次郎指揮「こうもり」オルトフスキー役にて出演予定。コンサートグループ「花の詩」会員。名古屋二期会会員。日本演奏連盟会員。

## テノール 中井 亮一 Ryoichi Nakai

名古屋芸術大学首席卒業、同大学院修了。08年スカラ座音楽院オペラ研究所修了。05よりイタリアに留学し、スカラ座、フェニーチェ歌劇場、Rossini Opera Festivalなどに出演。帰国後は全国各地で「魔笛」(14年愛媛・徳島/文化庁子ども文化芸術体験事業)、「セヴィリアの理髪師」(13年兵庫/佐渡裕指揮)、「蝶々夫人」(14年京都/西本智実指揮)など20作品以上のオペラに出演。また「メサイア」「レクイエム」など合唱曲のソリストとしての出演も多く、11/30「スターバト・マーテル」(大阪府高槻市)、12/7「第九」

(小林研一郎指揮/読売交響楽団/所沢市)、12/11「悠久の第九」(愛知芸文)などに出演予定。(財)地域創造おんかつ事業登録アーティスト。NHK全国学校音楽コンクール審査員。男声合唱団メンネルコア東海、名古屋グリークラブ発声指導員。名古屋芸術大学講師。日本ロッシーニ協会会員。藤原歌劇団員。北名古屋市民在住。公式HP有り。  
\* 中井 亮一公式HP <http://www.tenore-nakai.net/>

## バリトン 松下 伸也 Shinya Matsushita

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院修了。モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」(グリエルモ)でデビュー後、名古屋二期会、名古屋オペラ協会等で、「秘密の結婚」(ロビンソン伯爵)「フィガロの結婚」(フィガロ、アルマヴィーヴァ伯爵、アントーニオ)「カルメン」(エスカミーリョ、ダンカイト、ズニガ)「こうもり」(ファルケ、フランク)等のオペラ、オペレッタに出演の他、新作初演オペラにも多数携わり、キャストだけでなく、合唱指導や

制作にも参加し、高い評価を得た。コンサートソリストとして「メサイア」「第九」「レクイエム(モーツァルト)」「ミサ曲(モーツァルト・シューベルト)」「エアリア」にも出演する。近年特にドイツ・リートをテーマにシューベルト、シューマンの作品で開催している。その他、サロンコンサートや障がい児対象のお喋り付きコンサートも開催し、クラシック音楽のすそ野を広げる活動も行う。これまでに声楽を藤井京子、福島明也、矢田部義弘の各氏に師事する。

## オーケストラ 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」春日井市民のオーケストラです。1990年(平成2年)11月に創立され、市内の音楽愛好家を中心に活動しています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・自営業者・主婦・学生など様々な職業をもった人からなる約50名です。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、オーケストラ活動を行っています。団員一同、第九演奏会にける情熱

には熱いものがあります。私たちにとっての最大の喜びは、一人でも多くのみなさまに演奏会にお越しいただき、音楽を聴く喜びを感じていただくことです。そのために「春日井で名曲の演奏会」と心がけています。今後も春日井市交響楽団に温かいご支援をお願い致します。

(団長: 稲垣 徹)

## 合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために、一般市民により編成された合唱団です。平成5年、春日井市市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を機に作られ、今年で22回目の演奏会を迎えています。毎年公募による新しい団員を含め、総勢250名にも達する大合唱団です。平均年齢は、60歳を超えてやや高いのですが、数年前から中部大学混声合唱団の若い力の応援をいただき、元気に第九を歌っております。7月に市長の出席を仰いで結団式を行い、毎週土曜日、松下伸也先生の優しく丁寧な、また、時にはユーモアを交えた

指導のもと、一生懸命練習に励んでおります。慣れないドイツ語の発音に苦労しておりますが、第九のテーマである「人間はみな兄弟である」という喜びをわれわれ自身も感じながら、演奏会においてくださる皆様方に、少しでもその精神を感じていただこうと精一杯歌います。今年は、第九の前にポロディン作曲、井村誠貴先生ご自身の編曲・作詞による「ダッタン人(ポロヴェッツ人)の踊り」も演奏いたします。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(団長: 須藤章夫)

## 「ロマン派」のトビラを開けろ!!

交響曲の父ハイdnを師と仰いだベートーヴェンでしたが、11歳で最初のピアノ曲を作曲するものの、交響曲は29歳までは書きませんでした。ハイdn、モーツァルトといった古典派を代表する作曲家が大活躍する世に生まれたベートーヴェンでしたが、その作風は、第1交響曲から既に型破り…いえいえ!ベートーヴェン独特の作風が感じられます。世界中で最も有名な交響曲第5番「運命」で、古典派から想像できる最大の音楽を構築した彼は、同時期に作曲した第6番「田園」で新しい時代の開拓者として標題音楽に挑みます!鳥が囀り、雷が轟く!そんな当時としては斬新な音楽は、第7番で熱狂的リズム音楽へ、そして第九交響曲で、ついに声楽を伴った作品を創り上げてしまいました!もはや古典派とは呼べない新しい時代「ロマン派」のトビラを自らの手でこじ開けたのです!常に時代の先を行ったベートーヴェンが最後に表現したかった第九交響曲。この作品こそ、彼自身が本当に書きたかった「オペラ」なのかも知れませんがね!

音楽監督・指揮者: 井村誠貴

※都合により出演者が変更になる場合があります。